



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 フリュー株式会社

コード番号 6238 URL http://www.furyu.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田坂 吉朗

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 財務経理部 部長 (氏名) 笹沼 理成 TEL 03 (5728) 1761

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	18,767	1.1	1,925	△45.9	1,920	△45.8	1,302	△46.2
29年3月期第3四半期	18,557	1.2	3,557	15.3	3,546	15.3	2,420	18.7

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,270百万円 (△50.8%) 29年3月期第3四半期 2,584百万円 (30.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	46.02	—
29年3月期第3四半期	85.54	—

当社は、平成29年3月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	21,259	16,511	77.7
29年3月期	22,324	16,089	72.1

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 16,511百万円 29年3月期 16,089百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
30年3月期	—	0.00	—		
30年3月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	4.5	3,000	△23.5	3,000	△23.5	2,100	△25.0	74.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	28,296,000株	29年3月期	28,296,000株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	192株	29年3月期	192株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	28,295,808株	29年3月期3Q	28,295,891株

(注) 当社は、平成29年3月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成29年4月1日～平成29年12月31日）におけるわが国の経済は、企業収益や雇用環境の改善が見られ、近隣諸国等における地政学リスクはあるものの、景気は緩やかな回復基調が続いております。

このような環境において当社グループは、企業理念「人々のところを豊かで幸せにする良質なエンタテインメントを創出する！」のもと、プリントシール事業の拡大、若年女性層の顧客基盤を活用したマネタイズの多様化、IP（知的財産）を軸にしたキャラクター価値の最大化に注力してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高18,767百万円（前年同期比101.1%）、営業利益1,925百万円（前年同期比54.1%）、経常利益1,920百万円（前年同期比54.2%）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,302百万円（前年同期比53.8%）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### (プリントシール事業)

プリントシール事業におきましては、プリントシール機の新機種「SALON AIR（サロンエア）」、「これ以上可愛くなってもいいですか。」を発売したものの、プリントシール機全体としてのプレイ回数は減少し、シール紙売上は前年同期を下回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,656百万円（前年同期比99.1%）、営業利益は854百万円（前年同期比72.9%）となりました。

#### (コンテンツ・メディア事業)

コンテンツ・メディア事業におきましては、プリントシール画像取得・閲覧サービス「ピクトリンク」の入会促進施策と継続利用促進施策に取り組み、平成29年12月末における有料会員数は161万人となりました。

一方、WEBマガジンやメール広告「プリアドメール」、カラーコンタクトレンズの販売等は堅調に推移いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,290百万円（前年同期比106.8%）、営業利益は3,137百万円（前年同期比97.1%）となりました。

#### (キャラクタ・マーチャンダイジング事業)

キャラクタ・マーチャンダイジング事業におきましては、多数の新規キャラクター版権の獲得とその商品化を行いました。前期主力商品に匹敵するような売上の獲得に至らず、前年同期の売上を下回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,573百万円（前年同期比90.1%）、営業利益は92百万円（前年同期比22.3%）となりました。

#### (ゲーム事業)

ゲーム事業におきましては、ニンテンドー3DS<sup>™</sup>向けオリジナルタイトル「アライアンス・アライブ」の発売や、スマートフォン向けオリジナルゲーム「恋愛幕末カレシ～時の彼方で花咲く恋～」、「ばすてるメモリーズ」の配信開始等により、売上を伸ばしました。一方、来期以降に発売または配信開始するゲームへの開発投資の影響もあり、前年同期に比べ営業損失は拡大いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,905百万円（前年同期比125.7%）、営業損失は988百万円（前年同期は営業損失439百万円）となりました。

#### (その他)

その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、書籍の出版事業等を行っております。当第3四半期連結累計期間の売上高は342百万円（前年同期比72.9%）、営業利益は52百万円（前年同期47.7%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が21,259百万円、負債が4,747百万円、純資産は16,511百万円となりました。また、自己資本比率は77.7%となりました。

(資産)

資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,065百万円減少し、21,259百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少(前連結会計年度末比1,239百万円の減少)、受取手形及び売掛金の減少(前連結会計年度末比531百万円の減少)、たな卸資産の増加(前連結会計年度末比425百万円の増加)によるものであります。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ1,487百万円減少し、4,747百万円となりました。これは主に、未払法人税等の減少(前連結会計年度末比466百万円の減少)、その他(未払金)の減少(前連結会計年度末比657百万円の減少)、その他(未払費用)の減少(前連結会計年度末比438百万円の減少)によるものであります。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ421百万円増加し、16,511百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等による利益剰余金の増加(前連結会計年度末比453百万円の増加)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想及び配当予想につきましては、平成29年11月9日の「第2四半期累計期間業績予想と実績値の差異および通期業績予想の修正ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,693,790	10,454,762
受取手形及び売掛金	3,995,327	3,463,877
電子記録債権	600,364	813,209
たな卸資産	1,062,003	1,487,998
その他	1,178,728	1,279,066
貸倒引当金	△13,531	△5,974
流動資産合計	18,516,683	17,492,939
固定資産		
有形固定資産	2,465,650	2,375,355
無形固定資産	230,496	248,722
投資その他の資産		
その他	1,125,047	1,155,387
貸倒引当金	△13,147	△13,233
投資その他の資産合計	1,111,900	1,142,153
固定資産合計	3,808,047	3,766,231
資産合計	22,324,730	21,259,171

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	787,050	630,816
電子記録債務	1,481,015	1,387,968
未払法人税等	545,252	78,336
賞与引当金	5,945	227,939
返品調整引当金	142,092	127,590
その他	2,584,160	1,534,221
流動負債合計	5,545,517	3,986,872
固定負債		
退職給付に係る負債	676,293	747,826
その他	13,079	13,079
固定負債合計	689,373	760,905
負債合計	6,234,890	4,747,778
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,639,216	1,639,216
資本剰余金	1,639,216	1,639,216
利益剰余金	12,837,020	13,290,381
自己株式	△178	△178
株主資本合計	16,115,273	16,568,634
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	52,280	16,788
退職給付に係る調整累計額	△77,714	△74,029
その他の包括利益累計額合計	△25,433	△57,240
純資産合計	16,089,839	16,511,393
負債純資産合計	22,324,730	21,259,171

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	18,557,458	18,767,997
売上原価	7,849,056	8,413,229
売上総利益	10,708,401	10,354,768
販売費及び一般管理費	7,150,670	8,429,203
営業利益	3,557,731	1,925,564
営業外収益		
投資事業組合運用益	—	7,334
保険解約返戻金	1,443	—
償却債権取立益	43	513
その他	842	1,257
営業外収益合計	2,330	9,105
営業外費用		
支払利息	258	631
為替差損	2,938	11,072
投資事業組合運用損	7,649	—
持分法による投資損失	1,645	2,556
その他	1,306	1
営業外費用合計	13,798	14,262
経常利益	3,546,263	1,920,407
特別利益		
固定資産売却益	—	159
特別利益合計	—	159
特別損失		
固定資産除売却損	6,067	5,761
出資金評価損	10,000	—
特別損失合計	16,067	5,761
税金等調整前四半期純利益	3,530,196	1,914,805
法人税等	1,109,676	612,570
四半期純利益	2,420,519	1,302,235
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,420,519	1,302,235

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	2,420,519	1,302,235
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	161,339	△35,491
退職給付に係る調整額	2,797	3,684
その他の包括利益合計	164,137	△31,807
四半期包括利益	2,584,657	1,270,427
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,584,657	1,270,427
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				
	プリントシール 事業	コンテンツ・メ ディア事業	キャラクタ・マ ーチャンダイジ ング事業	ゲーム事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	6,715,718	5,892,236	3,965,103	1,515,341	18,088,399
セグメント間の内部売上高又 は振替高	-	-	-	-	-
計	6,715,718	5,892,236	3,965,103	1,515,341	18,088,399
セグメント利益又は損失(△)	1,172,745	3,232,090	415,724	△439,790	4,380,769

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	469,058	18,557,458	-	18,557,458
セグメント間の内部売上高又 は振替高	1,475	1,475	△1,475	-
計	470,534	18,558,933	△1,475	18,557,458
セグメント利益又は損失(△)	110,450	4,491,219	△933,488	3,557,731

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、書籍の出版事業等を行っております。

2. セグメント利益又は損失の調整額△933,488千円には、セグメント間取引5,850千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△939,338千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	プリントシール 事業	コンテンツ・メ ディア事業	キャラクタ・マ ーチャンダイジ ング事業	ゲーム事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	6,656,777	6,290,464	3,573,448	1,905,257	18,425,948
セグメント間の内部売上高又 は振替高	-	-	-	-	-
計	6,656,777	6,290,464	3,573,448	1,905,257	18,245,948
セグメント利益又は損失(△)	854,722	3,137,440	92,533	△988,176	3,096,519

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	342,049	18,767,997	-	18,767,997
セグメント間の内部売上高又 は振替高	-	-	-	-
計	342,049	18,767,997	-	18,767,997
セグメント利益又は損失(△)	52,649	3,149,169	△1,223,605	1,925,564

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、書籍の出版事業等を行っております。

2. セグメント利益又は損失の調整額△1,223,605千円には、セグメント間取引5,850千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,229,455千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。